

## 真田山周辺で観察された生き物調査報告書 コース 14(B)

報告者:北川ちえこ

日時:2020年7月26日(日)9:30~12:00 曇り

調査者:浮田文子、北川ちえこ、木山正隆、高瀬恒美、高橋満子、竹原秀樹、中谷憲一、中西有美、  
林耕太、古川末広、榎元慶子(11名)

一般参加者:7名(そのうち親子1組が、大人1名と子ども2名)

事務局:古曾志まり子

コース:JR「玉造駅」~宰相山西公園~旧真田山陸軍墓地~宰相山公園~真田山公園・マップ No.1

今年は、7月は雨が多く気温も低く夏真っ盛りにもかかわらず暑くはありませんでした。いつもは鳴りやまない WBGT 警報音もほとんど聞くことはありませんでした。セミ調査もたくさんの参加者があり期待していましたが、肝心の抜け殻が余りありませんでした。宰相山西公園では、木よりも、背丈 60~80cm くらいの草本の茎に、抜け殻がたくさん見つかりました。他の場所でもさほどの収穫もなく昨年を下回る少なさだと感じました。宰相山公園で採集したイヌビワの花囊 2 コを割ると、その時は黒い粒のように見えていましたが、中谷さんが持ち帰り調べていただきイヌビワコバチとイヌビワオナガコバチと判明しました。2 コの花囊から 2 種のコバチ類が効率良く見つかり、他の花囊も割って見たかったです。昨年、この調査において大阪市で成虫初記録のクビアカツヤカミキリ(真田山公園)が発見され、今年も気がかかりでしたが、別の 2 本のモモの木の下でフラスが見つかり、ひょっとして・・と緊張が走りましたが、その形態からカミキリではなさそうでした。念のため関係先に連絡しました。真田山公園あたりから雨が降り出し、調査はなんとかぎりぎりのところで終了できました。長年一番暑い時期にセミ調査をしていますが、抜け殻の増減や見られる動植物はその時の環境を反映していると実感しています。現在、新型コロナウイルスに用心しているところですが、これも変化する環境の一部とみなし成り行きを静かに見守るしかないと思っています。

- 1: 葉、卵、配偶体(蘚苔類等) 2: 花、幼虫、幼鳥、孢子体未成熟(蘚苔類) 3: 果実、蛹、孢子体成熟(蘚苔類) 4: 実生、成虫、成鳥、枯死、休眠(蘚苔類) 0: 孢子、無性芽(蘚苔類)、その他 植:植栽  
※実生は 150cm までを 4 と表示しそれ以降は通常の状況番号とします。  
※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。  
※2 分の 1 地域メッシュコード(総務省)で分割し、そのコード番号の横( )内に記載した No. は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域 500m メッシュナンバーである。  
※植物科名は 2017 年度より新エングレー体系から APG 体系に変更した。

温度測定を行った:以下の順で記載(記録者:忍義博,中西有美ほか一般参加者)

測定地点番号 時刻 WBGT°C 気温°C 湿度% のほか事物の放射温度°C

備考:●日陰 ○日向 △半日陰

メッシュ No.523504023(465)

JR 玉造駅西出口(集合場所)

(9:30 WBGT25°C、27.9°C、74%、●)

(花壇)

アブラナ科…タネツゲバナ 3

カタバミ科…カタバミ 1

キジカクシ科…ノシラン 2(植)



玉造駅で集合 200726 撮影 北川ちえこ

JR「玉造駅」~宰相山西公園

イネ科…エノコログサ 3、カゼクサ 3、コメヒシバ 3、ニワホコリ 3

カタバミ科…オッタチカタバミ 2

カヤツリグサ科…カヤツリグサ 2  
 キク科…アレチノギク 2、オニタビラコ 2、セイタカアワダチソウ 1  
 クワ科…クワクサ 2,3  
 トウダイグサ科…エノキグサ 3  
 ミソハギ科…サルスベリ 2(植)  
 動物…セグロアシナガバチ 4

宰相山西公園 9:45～10:00 くもり(雨あがり)  
 (9:45 WBGT25℃ 気温 27.5℃、湿度 78%、●)  
 (10:00 WBGT25℃ 気温 28℃、湿度 76%、●)



宰相山西公園での調査風景  
 15分間、分散して抜け殻を採集  
 去年も感じたが、この公園の抜け殻は少ない  
 200726 撮影 榎元慶子

アカネ科…ヘクソカズラ 3  
 アカバナ科…コマツヨイグサ 2  
 アサ科…エノキ 4  
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 2,3  
 イチョウ科…イチョウ 1(植)  
 イグサ科…クサイ 3  
 イネ科…イヌムギ 3(立枯れ)、オヒシバ 2、カモジグサ 3(立枯れ)、シマスズメノヒエ 2、メヒシバ 2  
 カキノキ科…カキノキ 3(植)  
 カタバミ科…オッタチカタバミ 1,3、ムラサキカタバミ 2  
 カヤツリグサ科…メリケンガヤツリ 2

クワ科…イヌビワ 3  
 キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 1、  
 セイタカアワダチソウ 1、セイヨウタンポポ 2、  
 チチコグサモドキ 2、ノゲシ 2、ヒメジョオン 2  
 キジカクシ科…ツルボ 2  
 クマツヅラ科…シチヘンゲ 2  
 ツユクサ科…ツユクサ 2、ムラサキツユクサ 2(植)  
 ニレ科…アキニレ 4、ケヤキ 1(植)  
 バラ科…サクラ sp.1(植)  
 ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1  
 マメ科…シロツメクサ 2



宰相山西公園での調査風景 200726 撮影 北川ちえこ

ムクロジ科…トウカエデ 3(植)  
 蘚苔類…タチヒダゴケ 1  
 地衣類…コフキヂリナリア 1、ナミガタウメノキゴケ 1、ナミムカデゴケ 1、レブラゴケ sp.1、ロウソクゴケ 1  
 動物…スズメ 4、ハリブトガラス 4、アカハネオンブバッタ 4、アゲハ 4、オカダンゴムシ 4、  
 クマゼミ 0 抜け殻 4、クロヤマアリ 4、セグロアシナガバチ 4、ツマグロヒョウモン 4、ニレハムシ 4、  
 ハリブトシリアゲアリ 4、ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後繭、ヤマトシジミ 4、ネコハグモ 4

旧真田山陸軍墓地 10:10～10:25 くもり  
 (10:15 WBGT26℃、気温 28.2℃、湿度 78%、●)

アオイ科…ムクゲ 1(植)  
 アカバナ科…コマツヨイグサ 2  
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 2,3  
 イネ科…アキメヒシバ 3、シマスズメノヒエ 2、  
 ホソムギ 3  
 カタバミ科…オッタチカタバミ 1



旧真田山陸軍墓地での調査風景 下草があおい  
 200726 撮影 北川ちえこ

キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 2、ブタナ 2、ヨモギ 1

クルミ科…シナサワグルミ 3(植)

シソ科…トウバナ 2

センダン科…センダン 4

タデ科…イヌタデ 1

ツユクサ科…ツユクサ 1

ニレ科…アキニレ 1、ケヤキ 1(植)

バラ科…ウメ 1(植)

ブドウ科…ヤブガラシ 1

マツ科…クロマツ 1(植)

マメ科…シロツメクサ 2

ミソハギ科…サルスベリ 1(植)

モクセイ科…キンモクセイ 1(植)、

ヒイラギモクセイ 1(植)

地衣類…ムカデコゴケ 1

菌類…カワラタケ 2

(エノキに)動物…ハシブトカラス 0 声、アゲハ 4、アミメアリ 4、カマキリ科の一種 2、クマゼミ 0 羽化殻、コガタズメバチ 4、サルスベリフクロカイガラムシ 2、チャバネヒメクロバエ 4、トビイロケアリ 4、トビイロシワアリ 4、ヒトスジシマカ 4、ウヅキコモリグモ 4、シラヒゲハエトリ 2



セミ抜け殻はいつも鈴なりでたくさん付いるケヤキだが、昨年に引き続き往年の多さはなかった。コロナウィルスの騒ぎで外出自粛の中、以前にも参加の元気な親子がいた。

200726 撮影 北川ちえこ



旧真田山陸軍墓地のアキニレの大木にクマゼミの抜け殻がびっしりついていた  
200726 撮影 榎元慶子



旧真田山陸軍墓地の古木のエノキ  
200726 撮影 榎元慶子

メッシュ No.523504014(464)

旧真田山陸軍墓地草地

アカバナ科…コマツヨイグサ 2

カタバミ科…ムラサキカタバミ 2

キク科…ウラジロチチコグサ 1

センダン科…センダン 1

ツバキ科…ヤブツバキ 1(植)

バラ科…トキワサンザシ 3(植)

ブナ科…ウバメガシ 1(植)

ミカン科…ミカン sp.1

メギ科…ナンテン 3

蘚苔類…ヒナノハイゴケ 1,2、フルノコゴケ 1,2

地衣類…コフキヂリナリア 1、ロウソクゴケ 1

動物…クマゼミ 0 羽化殻,4



旧真田山陸軍墓地の古木のエノキ  
台風の被害をうけていたが菌類がびっしりついて朽ち始めていた  
200726 撮影 榎元慶子



古木エノキについていたカワラタケ  
200726 撮影 榎元慶子



フルノゴケ 200726 撮影 榎元慶子



ナミムカデゴケ 200726 撮影 榎元慶子

メッシュ No.523504023 (465)

旧真田山陸軍墓地～宰相山西公園(旧陸軍墓地東側)

イネ科…アキメヒシバ 2、イヌムギ 2

カタバミ科…オッタチカタバミ 1

キク科…ウラジロチチコグサ 1、セイタカハハコグサ 3、タンポポ sp.1、ヨモギ 1

サクラソウ科…コナスビ 1

ヒルガオ科…アオイゴケ 1

マメ科…シロツメクサ 2

動物…ドバト 4

宰相山公園上下 10:30～10:55 くもり

(10:30 WBGT26℃、気温 27.9℃、湿度 79%、●)

宰相山公園上

アカネ科…ヘクソカズラ 1

アサ科…ムクノキ 4

イネ科…トボシガラ 2

キク科…ウラジロチチコグサ 2、チチコグサ 3、ヒメジョオン 2

クワ科…イヌビワ 3

ツユクサ科…ツユクサ 1

トベラ科…トベラ 1(植)

ニレ科…アキニレ 4

マメ科…シロツメクサ 2

動物…ネコ 4、スズメ 4、ヒヨドリ 4、イヌビワオナガコバチ 4、イヌビワコバチ 4、オカダンゴムシ 4、クマゼミ0

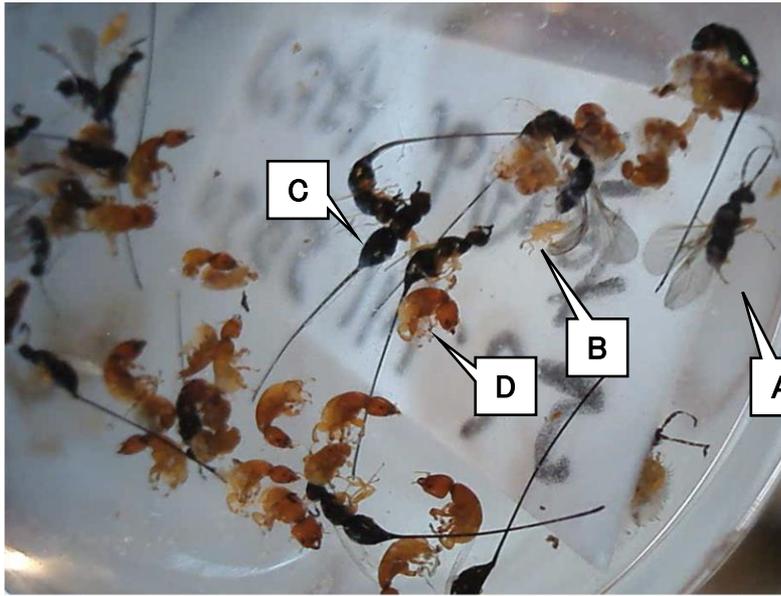
羽化殻、4、クロヤマアリ 4、ショウリョウバッタ 2、トビイロケアリ 4、ニクバエ科の一種 4



イヌビワの実生(宰相山西公園)には色づき始めた花囊がたくさんついていた  
ちょうどこの上(宰相山公園上)にもイヌビワがあった  
200726 撮影 榎元慶子

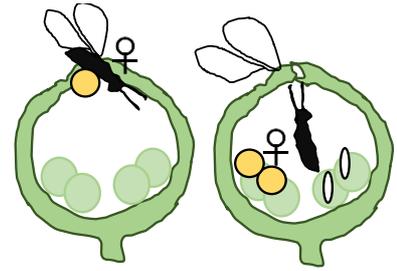


イヌビワの花囊を割ってみる(宰相山公園上)  
すぐには出てこなくても容器に入れて保管すると…  
200726 撮影 榎元慶子

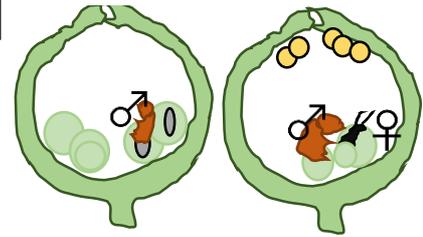


イヌビワの花囊から出てきたイヌビワコバチとイヌビワオナガコバチ  
 A:イヌビワコバチ雌 B:同オスらしき個体  
 C:イヌビワオナガコバチ雌 産卵管長い D:同オス 顎が大きい  
 いずれもオスはこの花囊の中で交尾し一生を終える  
 オナガコバチメスは外に出ても、花囊の外から産卵するので、中に花粉を運ばないが、イヌビワコバチは入り込んで花粉を運ぶ  
 採集 中谷憲一 200726 撮影 榎元慶子

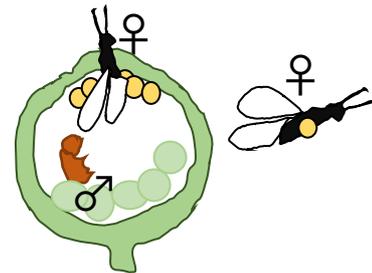
イヌビワオナガコバチは、産卵管が長く、イヌビワコバチの入った花囊の外側から産卵し、寄生する。イヌビワの花粉を運ばないので、イヌビワにとっては迷惑な存在である。  
 イヌビワコバチ、イヌビワオナガコバチのいずれにしても、小さな体ながら、羽根をつけた雌が空を飛び、イヌビワを見つけ出して、産卵し、命をつないでいる。  
 イヌビワはイヌビワコバチのおかげで、種子をつくり、鳥や雨水の流れなどで、実生の苗を増やしている。  
 上町台地の斜面緑地には、イヌビワの大きな株が多い。



イヌビワコバチの雌は、羽根を落として、イヌビワの花囊に入り、花粉を運び込む産卵して中で死ぬ



卵からかえったイヌビワコバチはイヌビワの雌花(虫えい花)の中で育ち、蛹になる。雄は羽化すると、同じく羽化した雌と交尾し、花囊の中で死ぬ。



イヌビワコバチの雌は出口となる上部の雄花の花粉をつけて、外に出る。

(図と文 榎元慶子)

宰相山公園下(東) くもり

(10:55 WBGT26°C、気温 27.7°C、湿度 80%、●)

宰相山公園下(東)

- アカネ科…ヘクソカズラ 1
- アジサイ科…アジサイ sp.1 (植)
- アブラナ科…イヌガラシ 2,3、マメグンバイナズナ 2,3
- イグサ科…クサイ 3
- イチョウ科…イチョウ 1 (植)
- イネ科…エノコログサ 3、オヒシバ 2、シマスズメノヒエ 2、チヂミザサ 1、ニワホコリ 3
- カタバミ科…オッタチカタバミ 1
- カヤツリグサ科…マスクサ 3
- キク科…ウラジロチチコグサ 2、オニタビラコ 2、タンポポ sp.1、ヒメジョオン 1



宰相山公園下での調査風景 200726 撮影 北川ちえこ

キジカクシ科…ヤブラン 2(植)  
 シソ科…トウバナ 2  
 タデ科…イヌタデ 1、ヒメツルソバ 1  
 ツツジ科…ヒラドツツジ 1(植)  
 ツユクサ科…ツユクサ 1  
 トウダイグサ科…エノキグサ 1  
 ブナ科…アラカシ 3(植)  
 動物…アオドウガネ 4、クマゼミO羽化殻、4、  
 ニクバエ科の一種 4

宰相山公園坂道下道路 くもり  
 イネ科…イヌムギ 2  
 オシロイバナ科…オシロイバナ 1  
 カタバミ科…ムラサキカタバミ 1  
 キク科…オニタビラコ 2、ノゲシ 2  
 トウダイグサ科…コミカンソウ 3  
 カニクサ科…カニクサ 1  
 ツユクサ科…マルバツユクサ 1  
 動物…ドバト 4

宰相山公園～真田山公園 11:02 くもり  
 放射温度

10:55

- 1) アスファルト道路 30.1℃(○)
- 2) アスファルト道路白線面 27.8℃(○)
- 3) マンホール・28.8℃(○)

10:56

- 4) マンション  
 入口床タイル 26.3℃(○)  
 玄関周り植栽葉面 27.2℃(○)  
 玄関周り植栽土壌面 25.9℃(○)

10:59～11:01

- 5) マンション横マンホール 29.4℃(○)
- 6) ガレージ入口溝板(鉄製) 27.8℃(○)

11:04～11:05

- 7) 真田山プール前・歩道タイルブロック白 29.0℃(○)
- 8) 真田山プール横・通路路面レンガ色 29.0℃(○)



調査地点地図

さまざまな地面でアスファルトが最も高い。

白線は太陽光を反射し、同じ路面ながら、やや低い。

植栽は日陰の時間が長く、土壌がしっとりとしていて、最も低い。

次第に曇ってきて、顕著な差は出なかった

真田山公園北(真田山プール横)

アカバナ科…コマツヨイグサ 2  
 イネ科…オヒシバ 2  
 カタバミ科…カタバミ 1  
 カヤツリグサ科…クグガヤツリ 2  
 キク科…ウラジロチチヨグサ 1、チチヨグサモドキ 1  
 スイカズラ科…ハナツクバネウツギ 2(植)  
 ミソハギ科…サルスベリ 2(植)  
 モクセイ科…キンモクセイ 1(植)



真田山公園での調査風景 200726 撮影 北川ちえこ

ヤマモモ科…ヤマモモ 1(植、街路樹)  
 地衣類…コフキヂリナリア 1(ヤマモモ)、サネゴケ科の一種 1(ヤマモモ)、  
 ダイダイゴケ科の一種 1(ヤマモモ)、レプラゴケ sp.1(ヤマモモ)  
 動物…スズメ 4、キムネクマバチ 4、クマゼミ 4

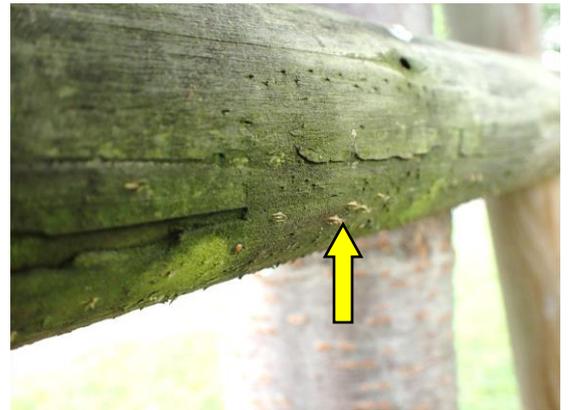
真田山公園テニスコート下階段～テニスコート横歩道

アオイ科…ムクゲ 2(植)  
 オオバコ科…オオバコ 1  
 オトギリソウ科…キンシバイ 2(植)  
 カタバミ科…カタバミ 1,2  
 キク科…ウラジロチチコグサ 2、セイヨウタンポポ 2、チチコグサモドキ 1  
 バラ科…ウメ 3(植)、シモツケ 2(植)、ヤエヤマブキ 2(植)  
 ヒルガオ科…アオイゴケ 1  
 マメ科…アレチヌスビトハギ 1、シロツメクサ 1  
 モクセイ科…オリーブ 1(植)  
 動物…ハシボソガラス 0 声、シバズ 0 声、マダラスズ 0 声

メッシュ No.523504021 (494)

真田山公園

イネ科…オヒシバ 2、タチスズメノヒエ 2、ホソムギ 2  
 マツ科…ヒマラヤスギ 1(植)  
 マメ科…シロツメクサ 1  
 ブナ科…ウバメガシ 1(植)、シラカシ 1(植)  
 ミソハギ科…サルスベリ 2(植)  
 動物…スズメ 4、ドバト 4、ヒヨドリ 4、クマゼミ 0 羽化殻,4



支柱にはセミの産卵痕 200726 撮影 梶元慶子

メッシュ No.523504012 (493)

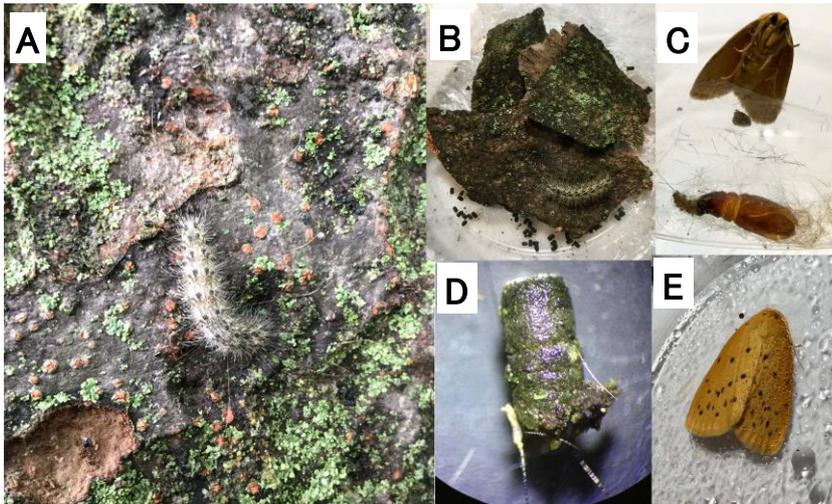
真田山公園 11:25～11:40

(11:25 WBGT25℃、気温 28.0℃、湿度 78%、●風なし)

アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3  
 イチョウ科…イチョウ 1(植)  
 キク科…ヨモギ 1  
 キジカクシ科…ヤブラン 2(植)  
 ツツジ科…ヒラドツツジ 1(植)  
 トベラ科…トベラ 3(植)  
 バラ科…ウメ 1(植)、ハナモモ 1(植)  
 ヒノキ科…カイヅカイブキ 1(植)  
 ブドウ科…ヤブガラシ 1  
 ミソハギ科…サルスベリ 2(植)  
 レンブクソウ科…サンゴジュ 1(植)  
 蘚苔類…ヒナノハイゴケ 1,2  
 地衣類…コフキヂリナリア 1、ムカデコゴケ 1、レプラゴケ sp.1、ロウソクゴケ 1  
 動物…スズメ 4、ドバト 4、ムクドリ 4、アミメアリ 4、ゴマダラキコケガ 2(地衣食)、クサカゲロウ科の一種 2、クマゼミ 0 産卵痕(サクラ),0 羽化殻,4、ハリブトシリアゲアリ 4、ヤマトシジミ 4



クマゼミの産卵痕を撮影中  
 200726 撮影 北川ちえこ



地衣類を食べていた幼虫を持ち帰り、飼育してみると・・・  
200726～200806 撮影 中西有美

左写真の解説

- A. 7月26日(日) 真田山公園の樹幹で見つけたゴマダラキコケガの幼虫(終齢)とムカデコゴケ
  - B. 7月27日(月) 朝に餌として入れておいた現地の樹皮片一面のムカデコゴケは夕方にはきれいに食べ尽くされており、その分と思われる糞が多数見られた。また、繭を作り始めていた。
  - C. 8月5日(水) 羽化直後の成虫と蛹
  - D. ムカデコゴケを食べた後の緑色の糞には消化不良と思われるものも混じていた。
  - E. ゴマダラキコケガの成虫
- ※ 緑色の糞を出し切らせ、その後ロウソクゴケを食べさせると黄色の糞が出るのか確認したかったが叶わなかった。  
(文と写真 中西有美)



ハナモもらしきバラ科の樹木の下に  
黄色のフラスが出ていた 200726 撮影 榎元慶子



昨年の調査でクビアカツヤカミキリ(成虫オス)が発見されたウメには、ネットが巻かれていた  
200726 撮影 榎元慶子



別のバラ科の樹木にもフラスが出ていたので集まる参加者たち  
いずれもカミキリムシではなさそうとの見解  
後日、建設局緑化課に連絡 200726 撮影 榎元慶子

注:この日4か所で採集したセミの抜け殻の、種別雄雌別の計数は後日行う予定。